

# 山形県置賜総合支庁の取組状況等について



川西ダリヤ園

令和4年9月13日（火）

山形県置賜総合支庁

# 置賜総合支庁管内の取組状況等について

## 1 置賜地域における新型コロナの状況等について



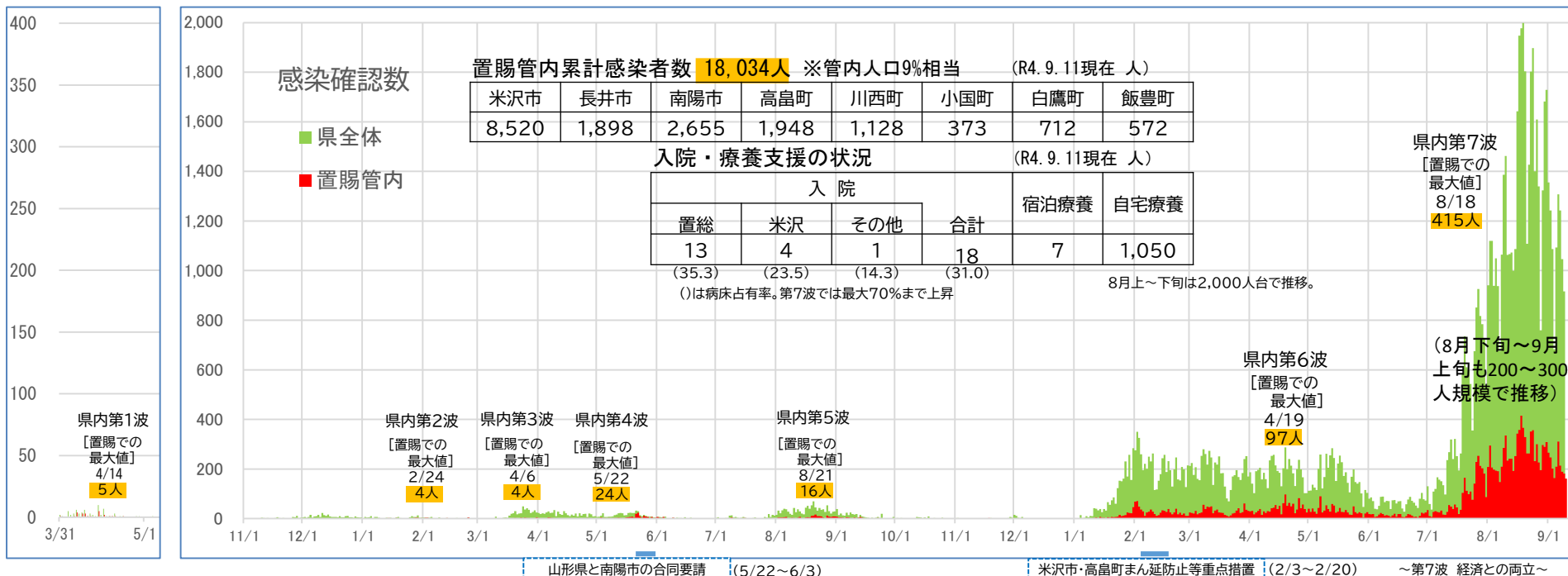
## 2 8月3日からの大雨に係る 対応状況等について



## 3 最近の話題

- ・ 置賜管内のトピックス
- ・ 若者の地元定着に向けた取組





### 置賜地域における第7波の特徴

- ・桁違いの感染者数 1日あたり新規感染者数200～400人規模で推移
- ・軽症患者が大多数で自宅療養者が激増 8月中旬以降2,000人規模で推移
- ・福祉関連施設や院内感染等が顕著 (病院クラスター置賜で初発生)  
病床占有率が高水準で推移 (基礎疾患があり体力低下した高齢者等の入院)
- ・宿泊療養施設はお盆 (帰省) 時期に増加。現在は一桁で推移

### 相談・検査体制の拡充

- 保健所を中心に1日当たり約80人体制で対応。  
※8月3日からの大雨被害以降 休日対応も含めフル稼働
- 会計年度任用職員等の配置 8月までに7名
- 本庁等からの応援派遣 (7/27～ 延べ188人)
- 市町からの保健師等の応援派遣 (7/21～ 延べ362人)
- 医療機関・薬局との協力体制、市町や施設関係者とも良好関係継続
- 講堂をコロナ災害対策本部として継続設置 (冷房延長、網戸設置等環境整備)

### 業務改善等の取組み

- 新規感染者への疫学調査項目の簡略化
- 検査誘導対象の絞込み
- 自宅療養に係る健康観察対象の絞込み (7月下旬から段階的に見直し)
- 新規陽性者への文書発送の原則廃止 (ホームページによる情報提供)
- 抗原検査結果のメール送信による陽性判定 (8月上旬～) ※9月1日の陽性者登録センター運用開始により廃止
- OSMS (ショートメッセージ サービス) とe申請を活用した疫学調査、AI-OCR (AIによる文字認識技術) の活用
- 宿泊療養施設の外部委託業務の拡大 (8月20日～)

全数把握の見直しや陽性者健康フォローアップセンターの設置など、全体的な改善事項について県及び政府の方針を踏まえ適切に対応していく

## 製造業

## 〈原材料、燃料費高騰の影響〉

- ◆幅広い業種に影響が及んでおり、価格転嫁できず収益が悪化するところも見られる。

## 【A社】 主要品目:通信機器

電気代、ガソリン、灯油等のエネルギーコストが年間2000万円上昇。節電や省エネ設備への更新を行うも吸収できず収益を圧迫。

## 【B社】 主要品目:半導体製造装置

受注は増えているが、材料、電気量、切削油、輸送費等が高騰し、収益面では悪化している。

## 〈部品調達難の影響〉

- ◆電子部品等の調達難が長期化しており、生産・納品の遅延及び受注機会の逸失等の影響が出ている。

## 【C社】 主要品目:電子部品製造装置

引き合いは多いが、半導体などの部品が入手困難で、通常納期6か月のところ1年かかっている。

## 【D社】 主要品目:自動車部品

半導体不足、中国ロックダウンによる部品不足の影響で、生産調整が続く。原材料、燃料費高騰が重なり、収益が大幅に悪化。

## 〈コロナウイルスの影響〉

- ◆多くの事業所で感染者や濃厚接触者が出て、生産体制維持に苦慮するも、リモートワークや多能工化で対応

## 【E社】 主要品目:厨房機器

社員の1割が休業。生産計画の見直しとリモートワーク導入により納期に遅れがないよう対応している。

## 《設備投資の動き》

半導体・電子部品市場の大幅な拡大を受け、製造能力拡大に向けた大型投資を計画

- クアーズテック(株)小国事業所 : 半導体セラミック製品増産に向けた設備投資で300人増員【R5春稼働】
- マクセルフロンティア(株)米沢事業所 : 半導体・電子部品製造装置に向けた制御基板等の増産に伴い新工場建設【R6春稼働】

## 飲食業

- ◆コロナ感染拡大により夜営業は客足減少。ランチ営業は帰省客利用で売上増店も。原材料、光熱水費の高騰でさらなる値上げの検討も。
- ◆商品券事業で売上増加、新規顧客獲得に繋がっている。

## 【商工団体】

- ・料理店では10人以上の宴会がほとんどキャンセル。
- ・食材や海外輸入品の仕入れ単価が高く、資金繰りが苦しい。

## 〈大雨による商工業への影響〉

- ・中小企業等100社以上被災
- ・浸水により、生産設備、機械装置、什器備品、商品、車両等に多くの被害が発生
- ・飲食店、卸売業では、休業やイベント中止等で売上減少
- 印刷業(川西町)  
印刷機15台が故障し、再開のメド立たず
- ガソリンスタンド(川西町)  
給油機、車両が冠水し、3週間休業
- 製造業(小国町)  
浸水で設備(7千万円)が故障し操業停止

## 観光業

## 〈宿泊施設〉

- ◆今夏は、行動制限がなく、割引キャンペーンによる県内や近隣県からの利用が好調で、回復基調。しかし、コロナ前までの回復には至っていない。

## 【F 温泉旅館】

主力の関東圏からの利用を促すため、全国を対象とした観光需要喚起策の早期開始を望む。

- ◆原材料等の高騰が経営に影響しており、価格転嫁を実施、検討中の旅館が増加。
- ◆業績の回復が遅れ、コロナ融資の返済を猶予してもらっている旅館もあり。

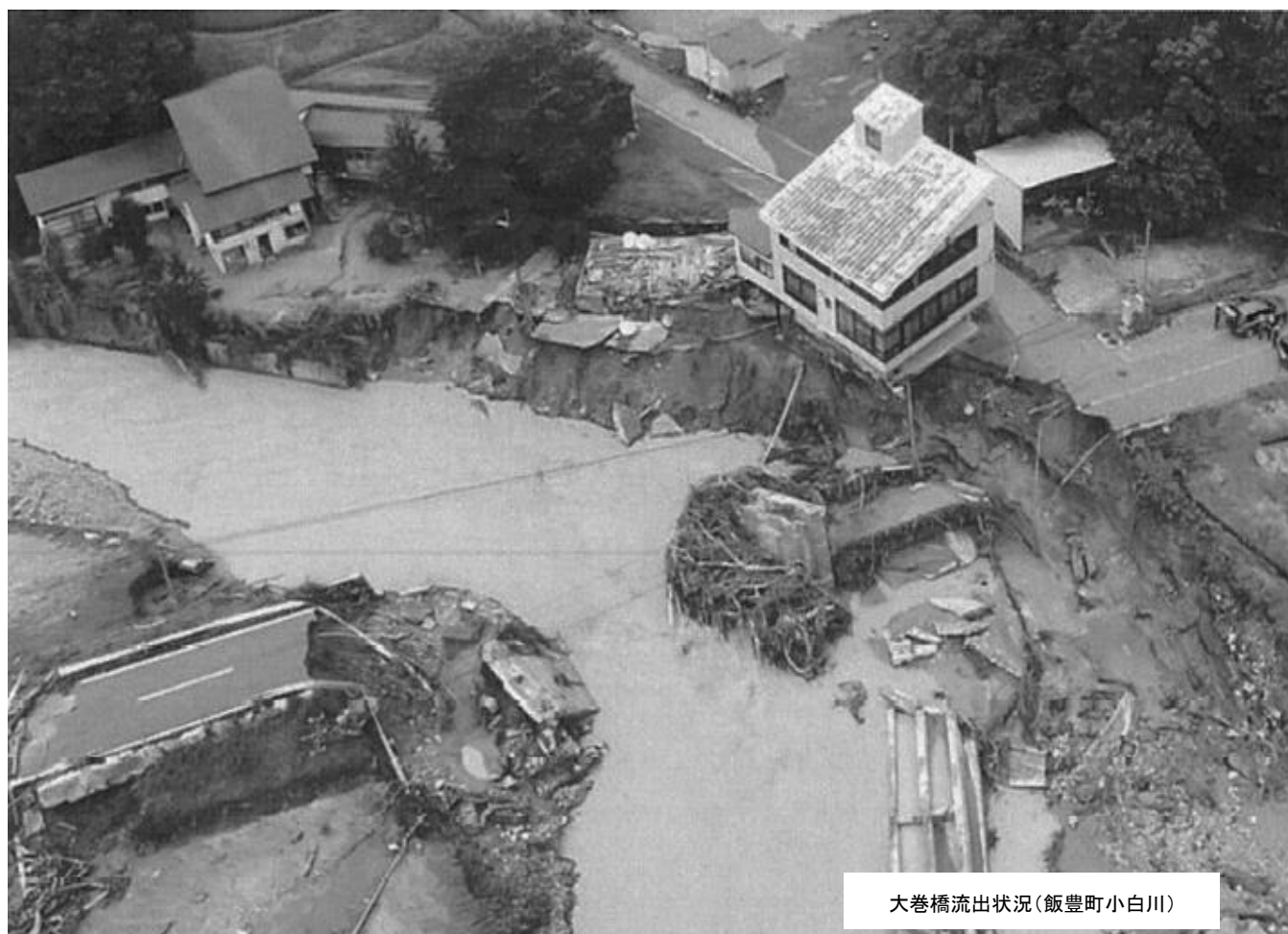
## 〈観光立寄施設〉

- ◆個人客に加え、一部団体客利用も再開。原材料等の高騰で一部施設で値上げ。

## 〈大雨による観光施設等への影響〉

- 6月、8月の大雨で、一部の観光施設等が影響を受けた。
- ・R121の通行止めにより、小野川温泉や上杉城史苑等の利用客が減少
- ・R113の通行止め(現在片側交互通行)により、飯豊めざみの里で利用客が減少
- ・長井ダム(ながい百秋湖)周辺、川西ダリヤ園で大きな被害
- ・米沢市の秘湯温泉旅館において、一時休館となったが現在は再開

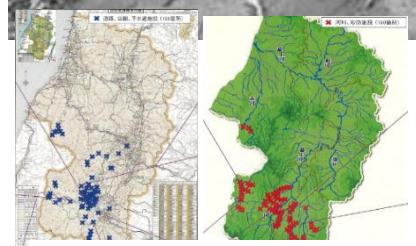




被害状況等（置賜） 9/9時点

<p>気象状況・警報等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●大雨特別警報 7市町</li> </ul>	<p>対応</p> <p>ホットライン</p>										
<p>●避難指示等 緊急安全確保5市町 避難指示8市町</p> <p>●避難所開設 74箇所</p>	<p>人的支援</p> <p>リエゾン14名派遣</p>										
<p>被害（9/9 14:00現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●人的被害 行方不明者1名</li> <li>●建物被害 住家721棟 非住家895棟</li> </ul>	<p>技術職員（土木、農業土木、林務系職員）約300名派遣</p> <p>※市町が行う被害状況の把握、災害査定等に関する設計・詳細設計に係る助言</p>										
<ul style="list-style-type: none"> <li>●道路（通行規制）158箇所</li> <li>●道路（施設被害）221箇所</li> <li>●河川（溢水等）30箇所</li> <li>●河川（施設被害）296箇所</li> <li>●土砂災害 14箇所</li> <li>●都市公園、下水道施設 4公園 1施設</li> </ul>	<p>物資提供</p> <p>液体ミルクの提供</p>										
<ul style="list-style-type: none"> <li>●農作物等 3509.35ha 施設312件</li> <li>●農地・農業用施設 2,934箇所</li> <li>●林地・森林関係施設 425箇所</li> <li>●鉄道 米坂線小白川鉄橋崩落等（今泉駅～坂町駅間不通）</li> </ul>	<p>その他</p> <p>災害廃棄物仮置場に関する助言 等</p>										
<p>●その他</p> <p>福祉、教育、商工業、文化財等被害多数</p>	<p>県全体被害額</p> <p>約471億円</p> <p>うち</p> <table border="1"> <tr> <td>県道路関係</td> <td>23.3億円</td> </tr> <tr> <td>県河川関係</td> <td>222.2億円</td> </tr> <tr> <td>農作物等</td> <td>14.2億円</td> </tr> <tr> <td>農業用施設等</td> <td>75.5億円</td> </tr> <tr> <td>森林関係</td> <td>14.8億円</td> </tr> </table>	県道路関係	23.3億円	県河川関係	222.2億円	農作物等	14.2億円	農業用施設等	75.5億円	森林関係	14.8億円
県道路関係	23.3億円										
県河川関係	222.2億円										
農作物等	14.2億円										
農業用施設等	75.5億円										
森林関係	14.8億円										

大巻橋流出状況（飯豊町小白川）



被災箇所 道路(左)・河川(右)



国道121号(米沢市入田沢)



小白川氾濫状況（飯豊町小白川）



山腹崩壊と幹線用水路埋塞（飯豊町高峰）



農業用ため池の決壊（川西町上小松）



● 国道121号（米沢市入田沢）、長井飯豊線大巻橋（飯豊町小白川）など 県管理道路の施設被害は132箇所（道路流出、落橋等）。  
 総合支庁において、市町と連携（市町を支援）し、本庁、国・関係機関とも連携しながら、総力を挙げて初動・応急・復旧に対応。



B 国道121号 被災状況

A 国道121号 被災状況

B 国道121号 仮復旧工事

B 国道121号 仮復旧後



A 国道121号 応急工事イメージ図



◆ 長井飯豊線大巻橋 応急工事イメージ図



国道113号 被災状況



国道113号 仮復旧後

### 初動・応急 8/3～

- ・ 降雨量等を踏まえた道路通行規制 8/3～
- ・ 安全状況・被災状況把握のパトロール 59路線 8/3～8/4
- ・ 被災箇所調査(ドローン活用) 8/4～

### 応急・復旧 8/4～

- ・ 被災箇所詳細調査及び倒木・土砂撤去 8/4～
- ・ 路肩欠損箇所の応急措置 8/4～
- ・ 仮舗装による交通開放 8/12～

### 復旧対応

- ・ 災害査定(10/24～)を含む 復旧工事に向けた測量設計

### 国道121号の応急工事

- A 米沢側(八谷トンネル手前)
- B 福島側

- ・ A,B ドローン調査 8/4
- ・ A,B 詳細調査ほか 8/6～
- ・ A,B 国テックフォース調査 8/8
- ・ A,B 国災害査定官調査 8/9
- ・ A,B 知事視察 8/9
- ・ B 応急仮復旧工事 8/18～9/2
- ・ A ボーリング調査 8/9～
- ・ A 直轄権限代行の要望 8/24 →決定 8/26

### ◆ 長井飯豊線大巻橋の応急工事

- ・ ドローン調査 8/5
- ・ 知事視察 8/5
- ・ 仮橋詳細設計 8/5～
- ・ 詳細調査ほか 8/6～
- ・ 防災担当大臣視察 8/7
- ・ 国災害査定官調査 8/9,10
- ・ 国土交通大臣視察 8/9
- ・ ボーリング調査 8/29～9/1
- ・ 工事用道路及び仮橋作業ヤード造成 9/5～
- ・ 国土交通省より組立仮橋の貸与決定 9/8

### 県管理道路 9月9日15:00時点

- ◎施設被害 26路線132箇所
- ◎通行規制 15路線 22箇所 (全面通行止め継続4箇所)
  - ・ 玉川沼沢線(桜峠)
  - ・ 木地山九野本線(木地山ダム)
  - ・ 長井飯豊線(大巻橋)
  - ・ 国道121号(入田沢)



- 小白川、萩生川など 県管理河川の施設被害は272箇所（護岸損壊、堤防法面崩れ等）。総合支庁において、市町と連携（市町を支援）し、本庁、国・関係機関とも連携しながら、総力を挙げて初動・応急・復旧に対応。



小白川(大巻橋)被災状況



小白川応急工事



萩生川大型土嚢設置(二反田橋)



鬼面川応急工事

### 初動・応急 8/3～

- ・河川水位状況に応じたホットライン連絡（総合支庁→市町長 延べ14回） 8/3
- ・安全状況・被災状況把握のためのパトロール108河川 8/3～8/4
- ・倒木・土砂撤去、ポンプ排水作業 8/4～
- ・可搬式排水ポンプを長井市に貸出
- ・被災箇所調査（ドローン活用） 8/4～

### 応急・復旧 8/4～

- ・住宅隣接地の護岸損壊箇所等への大型土嚢設置及び河道埋塞土砂撤去 8/6～
- ※ 小白川、萩生川合わせて土嚢設置約5,800袋、土砂撤去約3万m<sup>3</sup>

### 復旧対応

- ・災害査定（10/24～）を含む復旧工事に向けた測量設計

### 被災箇所詳細調査及び復旧工法の検討 8/6～

- 道路・河川共通
- ・技術職員派遣（西庁舎、被災市町） 8/8～9/9 ※土木職員延べ199名（本庁、各総合支庁）
- ・測量設計業者との調整と県協会への応援要請 8/15,8/17

### 県管理河川 9月9日15:00時点

- ◎施設被害 40河川272箇所（護岸損壊、堤防法面崩れ等）
- ◎一般被害
  - ・溢水：元宿川など15箇所
  - ・内水氾濫：犬川など13箇所
- ◎氾濫危険水位超過 置賜白川など 5河川



### 農地・農業用施設災害対応

#### 初動対応

・防災重点農業用ため池  
(92箇所)の緊急点検  
・市町・土地改良区とともに被災状況を把握  
(約3,000箇所)

#### 応急対応

・被災水路、揚水機場  
への仮設ポンプ設置  
・応急仮工事の実施  
・二次被害防止  
(ブルーシート設置)

#### 復旧支援

・復旧方針、復旧工法助言  
・災害査定に向けた申請準備、  
査定設計書作成等の支援  
(本庁、他総合支庁からの  
応援対応含む)

### ■ 被害状況 (9/5現在)

被害種別	箇所数	被害額 (百万円)	内容
農地	1,690	1,798	法面崩落、土砂流入等
農業用施設	1,240	4,047	ため池決壊、水路損壊、揚水機水没等
農村環境施設	4	97	農業集落排水施設損傷等
計	2,934	5,942	8市町

防災重点農業用ため池の大光院堤1号〔通称：鏡沼〕が記録的豪雨により決壊。原因は排水能力を超えた水が越流し堤体盛土が破壊されたことによる。土砂や泥水が下流の川西町上小松に流下し、家屋に浸水被害が発生。

### 大光院堤1号ため池復旧工事（川西町大字上小松）



#### 1 初動対応 (8/3~7)

- ・川西町職員とともに被災状況を確認
- ・ため池下流水路の土砂撤去、大型土嚢設置

#### 2 応急対応 (8/8~8/10)

- ・東北農政局・農研機構との現地調査
- ・二次被害防止のための崩落面へのブルーシート設置

#### 3 復旧に向けた取組み

- ・ため池調査、解析結果を踏まえた設計
- ・流域全体の治水対策の検討
- ・復旧工事を国とともに全面的に支援  
工事予定期間：令和4~9年  
(複数の事業による復旧を想定)  
想定総事業費：約5億円

写真

A ため池の流入部で発生した大規模な道路崩落

B 決壊したため池を国の東北農政局、農研機構職員と調査する置賜総合支庁職員

C 決壊断面の洗堀を防ぐためのブルーシート設置



- 農地や農道の法面崩落、ため池の決壊、幹線用水路の閉塞、揚水機場の浸水など2,934箇所、59億4,200万円の農地・農業用施設被害、山腹崩壊や林道の路肩崩落など425箇所、14億2,800万円の森林関係被害が発生（9/6時点）。市町と連携し、応急・復旧に対応。

### 白川幹線用水路と山腹斜面の復旧工事（飯豊町高峰）

山腹崩壊により用水路が53mに渡って損壊し、農業用水の通水が不能

災害関連緊急治山事業  
（森林整備課）

農業用施設災害復旧事業  
（農村整備課）

暗渠工  
水路工  
緑化工（一部法砕工）  
土留工  
仮復旧：仮設パイプ（φ600）・ポンプによる仮通水  
本復旧：水路（φ2.5m×H1.3m）復旧工

白川幹線用水路

町道 手ノ子高峰線

### 白川幹線用水路（飯豊町）

用水路が損壊し、約1500haの農地への用水供給が停止



● 仮設管（3列）と仮設ポンプ12台を設置して農業用水を供給



### 長堀堰（川西町）



① 被災した長堀排水路と土砂が流入した田



② 被災状況の調査  
置賜総合支庁



③ 大型土のうと仮設管により用排水路を仮復旧

### 長堀堰被害への対応

- 被災状況確認のうえ、被災水路、被災田の土砂撤去、仮設管設置、大型土嚢設置等の応急対応実施。今後、林地被害と合わせ復旧対応。（川西町と連携・支援）

### 初動対応(8/3~9)

- ・ 土地改良区・市町と連携。農業土木、森林土木職員が、緊急点検し対応協議（8/3~）
- ・ ドローンによる被災箇所調査（8/5~）
- ・ 東北森林管理局とヘリコプターによる被災箇所の合同調査（8/6）
- ・ 東北農政局地質官及び査定官現地調査（8/9、8/25）

### 応急対応(8/10~9/12)

- ・ 被災箇所を調査し、崩落土砂撤去や倒木の伐採、仮設管・仮設ポンプを設置
- ・ 土地改良区と連携して（お盆及び昼夜を問わず不眠で）出穂期を迎えた水稲生育に必要な農業用水の通水を確保
- ・ 災害協定に基づく県土地改良建設協会及び県森林土木建設業協会へ出動要請

### 復旧に向けた取組み

- ・ 用水路復旧工事と山腹斜面治山工事を国（東北農政局）とも連携して実施予定  
工事予定期間：令和4~6年  
総事業費：約3億円
- ・ 農地・農業用施設被害及び林地・林道施設等被害の災害査定に向けて、市町への技術支援を継続して実施（延べ282人、8/4~9/9）



## 2-⑥ 【農作物等】

8月3日からの大雨に係る対応状況等について

- 置賜全域で農作物被害。被害面積は3,509.35ha、被害総額14億7,451万円（9/9時点）。特に飯豊町、川西町で被害大。飯豊町では土砂・流木流入や圃場流出等による水稻、アスパラガス、川西町では冠水浸水によるアスパラガス、えだまめ、ダリア等の被害。
- 冠水・浸水直後、対策技術指導や営農継続に向けた支援、総合相談窓口を設置。今後もJ A・市町と連携し、継続して営農指導や被害拡大防止支援を行うとともに、災害復旧事業等により農地整備等の支援も展開。

### 水 稻



冠水 白鷹町高玉



土砂・流木流入 飯豊町小白川

#### 【被害状況】 2,881ha、7.6億円

- ・川西、南陽を中心に冠水発生。大部分の圃場で被害は軽微で大きな減収に至らない見込。
- ・冠水2日以上となった川西町洲島、白鷹町高玉地区では、減収懸念。
- ・飯豊町萩生、椿、小白川地区では、圃場への土砂・流木流入等で深刻な被害（復旧に数年を要することも想定）。

#### 【対応】

- ・冠水後の技術指導（排水、土砂・異物除去、水管理、防除、収穫、調製）
- ・現地講習会を開催し、収穫・調製について指導（9月8日、3か所）

### えだまめ



冠水 長井市泉



#### 【被害状況】 70.2ha、1.0億円

- ・川西町、長井市泉を中心に冠水発生。
- ・冠水時間や品種によって生育差がみられる。
- ・生産者からは『収穫目筋だったのに』と悔しさが伝わってくる。一部には、収入保険を得られることへの安堵の声も。

#### 【対応】

- ・冠水後の技術指導（排水、異物除去、土の乾燥促進、根腐れ防止措置、液肥散布、中耕・培土、防除、収穫）
- ・J A えだまめ部会と連携し、事後対策の周知（8月5日）

### ダリア



ハウス、露地の浸水 川西町堀金



ダリア圃場への事後対策を指導

#### 【被害状況】 3.4ha、43百万円

- ・川西町堀金、小松、尾長島地区等の圃場やハウスで浸水・冠水し、根腐れや球根腐敗により、株の萎れが発生。
- ・生産量は半減予想。
- ・来年の生産に向け、球根確保や防除等の栽培管理作業の実施、ハウスに新たに他品目を作付けした生産者もいる。

#### 【対応】

- ・冠水後の技術指導（排水、防除、根腐れ防止措置、液体肥料散布）
- ・関係機関で被災園を巡回して事後対策指導（8月25日）

### アスパラガス



土砂・漂流物流入 飯豊町小白川



圃場の冠水 川西町吉田

#### 【被害状況】 20.7ha、1.0億円

- ・飯豊町小白川地区のアスパラ圃地1.6haのうち1.1haに土砂・流木等が流入（現状回復は厳しい状況）。生産者、J A等と協議継続。
- ・川西町洲島の生産者から「一度はあきらめかけたが、生き残った部分に手をかけて、来年の春の芽の出方を確認し、生産継続の決断をしたい」と前向きな声も聞かれた。

#### 【対応】

- ・冠水後の技術指導（排水、土の乾燥促進、根腐れ防止措置、液肥散布、防除、収穫）
- ・LINEを活用した事後対策等の情報発信（8月4、5、31日）



### ～ JR米坂線の被害と地域公共交通について ～

#### I 米坂線の対応状況

##### ①被害状況(9月13日現在)

- ・手ノ子～羽前椿駅間で小白川橋梁崩落
- ・羽前椿～萩生駅間などで道床流出
- ・越後大島～坂町駅間などで土砂流入、道床流出 等



JR米坂線 小白川橋梁崩落(手ノ子駅～羽前椿駅)

##### ②これまでの復旧状況

米沢駅～今泉駅間 一部運転再開 (8月9日～)

今泉駅～坂町駅間 バスによる代行輸送開始 (8月12日～)

##### 【地域の声】

- 米坂線は、置賜地域にとって通勤・通学等の生活の足、広域的な観光・交流ネットワーク、産業振興のための社会基盤として重要な路線であり、

早期全線復旧等が必要

##### ③要望活動等

JR米坂線の早期全線復旧等に関して、政府・JR東日本に緊急要望

8月9日 知事→国土交通大臣

8月10日 置賜総合開発協議会→国土交通省など

8月12日 県(みらい部・総合支庁)及び沿線市町 →JR東日本 新潟支社  
米坂線整備促進期成同盟会 →JR東日本 新潟支社

8月17日 県(みらい部・総合支庁)及び沿線市町 →JR東日本 本社

8月29日 知事→国土交通省など

➤ 8月9日 国土交通大臣：早期復旧に全力を挙げていきたい。

ローカル鉄道の在り方に関する検討と、米坂線の災害復旧とは分けて考える必要がある。

● 要望活動 8月9日  
(知事 → 国土交通大臣)



#### II 管内の地域公共交通の在り方

##### 「鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会」提言

(R4.7 事務局: 国土交通省)

- ・国が「特定線区再構築協議会」(仮称)を設け、事業者、自治体と鉄道存続策やバス転換などの対応検討
- ・JR線区の協議対象は平時における輸送密度が1,000人未満などが目安
- ・鉄道事業者又は自治体からの要請を受け、国が協議会設置を判断
- ・最長3年で鉄道存続かバスなどへの転換の結論を出す(「廃止ありき」、「存続ありき」という前提を置かず、利用者目線で協議)

(その他の動き)

- ・JR東日本は、利用者が少ない地方路線の収支を初めて公表 (7月28日)
- ・東北運輸局、東北地方整備局、JR東日本、県等は、米坂線及び磐城線の地方整備協議会(仮称)で被災状況課題を確認 (9月1日)
- ・山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟会(仮称)で「日本の鉄道政策再構築重視、世界標準では社会全体の利益の最大化。カーボンニュートラルは最重要要素」などと講演 (9月5日)

- ・「米坂線整備促進期成同盟会」(会長:小国町長)では、「やまがた鉄道沿線活性化プロジェクト」による利用拡大策を検討(災害こより対応検討中)
- ・「フラワー長井線利用拡大協議会」(会長:長井市長)では、同プロジェクトの活用、開通100周年に併せた利用拡大事業、米坂線と連携した取組みを検討
- ・「置賜地域奥羽新幹線整備・米沢～福島間トンネル整備実現同盟会」(会長:米沢市長)では、新幹線・トンネル整備に加えて、鉄道ネットワーク全域にわたって沿線の活性化や人流の拡大を図る取組みを進める方針
- ・鉄道を取り巻く情勢の変化を踏まえ、情報の把握及び課題の共有を図るため、沿線市町とともに 情報交換会等を検討



● 置賜地域の鉄道をテーマにした  
フォトキャンペーン  
(おきたま元氣創造ラボ)



● 山形新幹線の「おもひでとみらい」話語るイベント  
(置賜地域奥羽新幹線整備・米沢～福島間  
トンネル整備実現同盟会)



● 京都大学名誉教授 中川氏 講演会  
(山形県奥羽・羽越新幹線整備  
実現同盟促進大会)

### 災害対策本部（市町村）

避難指示  
避難所開設

### 生活支援

断水、停電  
床上浸水、床下浸水  
災害廃棄物置場  
災害ボランティアセンター設置

### 応急・復旧

道路、河川、農地、農業用施設、  
森林関係等

ホットライン（総合支庁→市町長）  
市町村初動対応への指導助言

リエゾン（連絡調整員）の派遣  
飯豊、川西、長井、米沢に延べ14名を  
派遣し情報収集

### 液体ミルク提供

断水中の飯豊、小国に総合支庁備蓄の液体ミルク（計144本）提供

給水支援等 県、自衛隊、日本赤十字社山形県支部、県水協（市町村）による支援

被災住宅支援（床上浸水、床下浸水等） 災害ボランティアによる支援

罹災証明等 「大規模災害時の市町村広域相互応援に関する協定」に基づき  
県内市町村から川西・飯豊等に延べ160名の応援職員派遣（8/17～26）

### 災害廃棄物（仮置場等）に関する助言

### 技術職員等の派遣

被災状況把握や応急復旧対応支援のため、  
土木、農業土木、森林土木の技術職員を  
置賜総合支庁、本庁、各総合支庁から  
飯豊、川西、小国など7市町へ  
延べ342名派遣（～9/9）



連絡調整員が市町村の対応状況等を随時報告



災害廃棄物の性状調査(アスベスト調査)

#### ・ 災害救助法の適用

置賜地域8市町を含む県内10市町 適用年月日：令和4年8月3日

#### ・ 被災者生活再建支援法の適用

飯豊町、川西町 適用年月日：令和4年8月3日

#### ・ 激甚災害指定（見込み）

令和4年8月23日内閣府発表

市町村	期間	派遣元	人数	内容
米沢市	8月4日～8月5日	置支	延べ2名	農業用施設被災調査等
高島町	8月8日	置支	1名	農業用施設被災調査等
川西町	8月4日～8月29日	県庁・4支庁	延べ42名	農業用施設被災調査等
	8月26日	県庁・4支庁	延べ6名	林道等現地調査
長井市	8月4日～8月23日	置支	延べ9名	農業用施設被災調査等
	8月12日～8月24日	県庁・最支・置支・庄支	延べ7名	林道等現地調査
小国町	8月8日～8月10日	県庁・置支	延べ9名	農業用施設被災調査等
	8月12日～8月24日	県庁・村支・置支	延べ15名	林道等現地調査
	8月15日～8月26日	県庁・最支	延べ20名	土木施設被災箇所調査
白鷹町	8月4日～8月9日	置支	延べ4名	農業用施設被災調査等
飯豊町	8月4日～9月5日	県庁・4支庁	延べ151名	農業用施設被災調査等
	8月12日～8月23日	県庁・村支・置支・庄支	延べ36名	林道等現地調査
	8月15日～8月26日	村支	延べ20名	土木施設被災箇所調査
	8月29日～9月9日	村支・庄支	延べ20名	土木施設被災箇所調査

（9/9時点）





<要望・現地視察等>

- 8月5日 知事被災現場視察  
政府への緊急要望web面談
- 8月7日 内閣府特命担当大臣(防災)  
被害状況視察
- 8月9日 国土交通大臣被害状況視察  
意見交換(政府への緊急要望)
- 8月12日 JR 東日本新潟支社への緊急要望
- 8月17日 JR 東日本本社への緊急要望
- 8月24日 国道121号法面崩落箇所への国の  
支援による応急復旧に関する要望
- 8月29日 政府への緊急要望
- 8月18日 県議会建設常任委員会現地調査
- 9月7日 県議会農林水産常任委員会現地調査

上記以外にも現地調査等多数



## ◎長井線開通100周年記念 ロゴ募集・イベント列車

- フラワー長井線は、12/11「長井駅～鮎貝駅」で100周年、来年 4/22には「赤湯駅～荒砥駅」で全線開通100周年を迎えます！
  - 山形鉄道では、これを記念してロゴマークを募集中！（～9/16）
  - イベント列車も毎月運行！  
10/8 薬膳列車  
11/12 若乃井酒造コラボ 地酒列車
- 来春まで.. イベント列車や100周年記念イベントを盛りだくさん企画中



詳細は山形鉄道HP

**長井線全線開通100周年**

長井線は、2023年（令和5年）4月22日全線開通から100周年を迎えます。100周年を記念し、オリジナルのロゴマークを募集します。

大賞作品は抽選で100名（400万円・プレゼント）大賞はみなさんの投票で決定！！

応募資格：どなたでも応募可  
※応募期間は開通100周年記念行事開催中は、開催日の前日までとさせていただきます。

応募期間：令和4年8月3日（水）～ 9月16日（金）必着

10/8 薬膳列車  
11/12 若乃井酒造 × 山形鉄道 地酒列車

## ◎高校生マーケティング探究プロジェクト

【探究教室ESTEM × モンテディオ山形 × 米沢市 × 置賜総合支庁 連携事業】

- 置賜地域の高校生が中心となって、ビジネスマーケティングを学ぶプロジェクトを実施（テーマ：8月13日（土）のモンテホームゲームで「高校生1000人動員」）。
- 計6回にわたるオンラインミーティングや 対面での合宿等を経て、高校生自ら集客アイデアを企画・実践。



MONTE.SCHOOL



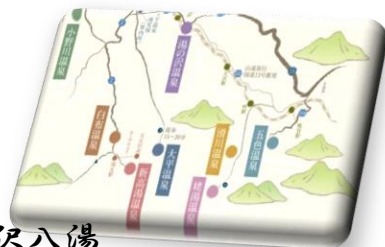
● 高校生が企画したカラーシューティングイベント



探究教室ESTEM  
代表 大垣 敬寛氏  
(元地域おこし協力隊)

## ◎米沢八湯にお越しください！

- 米沢の個性豊かな八つの温泉地。「秘湯」には全国から観光客が訪れます。
- 新高湯温泉、大平温泉は、この夏(6月、8月)の大雨により、旅館までの通路や源泉設備等に被害を受けましたが、作業ボランティアや支援金などの力を得て復活を果たしました！周辺には様々な見どころが満載です。米沢八湯に是非お越しください！



米沢八湯

小野川	白布	湯の沢	新高湯
大平	滑川	姥湯	五色



大平温泉 9/2～営業再開



滑川大滝に通じる吊り橋 CFIにより7月に完成



白布エリア天元台高原 6月完成の雲上テラス

※ 置賜総合支庁では、若手経営者やDMO等地域の皆様と一緒に 温泉地の未来について考えてまいります

やまがたアルカディア観光局 presents

2022.10.1～10.2

関係人口創出プロジェクト

## ◎ ライク・ア・バード okitama 交流会

～ 女性クリエイター5人 が出演する動画上映会、トークセッションで 置賜の魅力語り合います！～



<交流会> タスパークホテル

- 全5編ハイライト動画上映 (白鷹、飯豊、長井、南陽、小国) ロケ素材: 深山和紙、水没林、三瀬渓谷 ほか
- トークセッション(女性クリエイター5名 等)
- 講話(『トコト』編集長 指出一正氏) ・交流会 等

<ハイライトツアー>

長井→小国→飯豊→白鷹→南陽  
新しいライフスタイルを歩む 5人の「現代のイザベラ・バード」(写真家、建築家、アーティスト、クリエイター)がロケ地を周遊



## ★山形駅西イベント

～まるかじりフェア 2週連続で最上置賜をPR～

## おきたま美酒・美食フェア

米沢牛、地酒、地ワインなどおきたまの「うまい」が大集結！  
ご当地キャラやけん玉パフォーマンスも!!  
10/1～2 最上  
10/8～9 置賜



川西町 牛すじ煮込み



## 2022オールおきたま 若者定着・人材確保セミナー

[テーマ] 若者の地元定着に向けた 地域企業の魅力発信

**セミナー趣旨** / 企業の人材確保や地域の若者定着が構造的課題。

→ 関係者が連携して、置賜地域の魅力や地元企業の価値を発信していこう！

[日時] 令和4年9月1日開催 [場所] 伝国の社 オンライン同時配信

[主催] オールおきたま若者定着・人材確保推進会議（置賜総合支庁、商工会議所、企業、山形大学、市町等で構成）



応援メッセージ  
黒田 充紀氏  
(山形大学米沢  
キャンパス長)



モデレーター  
後藤ちひろ氏  
(米沢商工会議所)



パネラー  
勝見英一郎氏  
(長井キャリア  
教育研究会)



パネラー  
宍戸 俊文氏  
(米沢商業高等学校)



パネラー  
白土 夏実氏  
(株式会社ナウエル)

### 【登壇者の発言】

◎ 「若い時から地域の魅力（暮らし、文化、仕事等）に触れた学生ほど地域に定着する。小中高大学が連携し、そうした機会を提供することが大切だ」

◎ 「首都圏等のUターン希望者に、企業パーパス（社会的意義）や自社が目指す方向をメッセージにして効果的に発信することが有用だ」

### 小・中学生向け

- 長井マイスターカード  
→ 地元社長の生の声をトレーディングカードに！
- WAKU WAKU WORK in 米沢七中（9/6）  
→ 14社が学校でブース出展。模擬企業体験が大好評



### 中・高生向け

- 大人の社会科見学バスツアー（6/17）  
→ 生徒が企画し、大人（保護者や先生）が地元企業を見学するバスツアー  
※ 世界を相手に事業展開する地元企業を再認識
- 企業見学バスツアー（7/6）  
→ 米沢商業82名が地元企業18社訪問（イングリッシュジャパン等）  
＜実業高校4校 3大学で開催＞
- WAKU WAKU WORK（7月～11月）  
→ 南陽高校ほか4校で開催
- 高校生と若手経営者との交流事業  
→ 長井高校で堀江龍弘氏が講演（9/13）  
（株）ホリエ ※ 飯豊町HOTEL SLOW VILLAGE経営等  
→ 米沢興譲館高校で内藤寛氏が講演（11/17）  
（株）マインド ※ 米沢市COGO Works経営等



企業見学バスツアー



WAKU WAKU WORK

### 大学生・若者向け

- おきたま元気創造ラボ  
→ 置賜8市町の若者25名が地域の魅力を見つめ直し、自ら再発見＆発信
- okirakuキッチン  
→ 大学生（山大、米短、栄養大）が生産者などとの交流や、地元農産物の新メニュー作りなど、置賜の農と食文化の魅力を体験＆発信



おきたま元気創造ラボメンバー



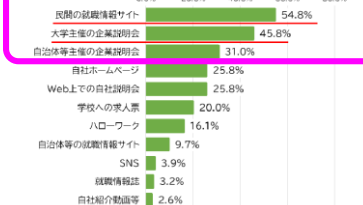
okirakuキッチン

### 企業向け

- 企業の魅力の伝え方セミナー  
→ 山中大介氏が講演（予定）※ ヤマガタデザイン(株) 企業説明会、インターンシップなど自社の魅力の効果的な伝え方を考えるセミナー

参考 県総合政策審議会資料(R4.8)

○ 特に有効だった方法・手段（採用実績ありの事業所）



採用実績のある事業所は、民間の就職情報サイトの活用や自社の価値観の説明等が効果的と回答

### 企業・Uターン者向け

#### ● オキタマズカン



→ Uターン移住者を促す転職サイト。  
地域の仕事と暮らしの情報を多面的に配信  
地域の企業とUターン希望者をマッチング

# 山形県置賜総合支庁

～ 各種取組についてロビー等で紹介・発信 ～



交通安全



子育て支援



青少年健全育成支援



おきたま伝統野菜



森づくり活動



消費者行政



3 R推進  
(リデュース、リユース、リサイクル)